

## 「少子化に伴う地域の課題と自治体シンクタンクの果たすべき役割」 グループディスカッション実施内容について

### 1. 実施概要

#### (1) 目的・ねらい

- ・基調講演の内容に係る意見交換を通じて、講演で得た知見への理解を深める。
- ・また、参加者が有する経験や知識の相互提供と議論により考察を深めることで、今後の研究活動のヒントとなる知見や気づきを得ることを目的とする。

#### (2) 実施概要

- ・参加者の主体的な進行によるグループディスカッション形式により実施する。
- ・グループごとの議論の結果は、発表により参加者全体で共有する。

### 2. 実施方法・手順

#### <タイムテーブル（目安）>

開始時刻	所要時間（分）	プログラム
15：30	5	討議手順の説明
15：35	2	役割分担の決定
15：37	10	自己紹介
15：47	10	論点の洗い出し（個人ワーク） ①地域の特性に応じた少子化に係る問題点・課題 ②課題に対し自治体シンクタンクができること、すべきこと
15：57	10	個人ワーク結果のグループ内での共有（各2分程度）
16：07	30	意見交換、KJ法による論点整理（グループワーク）
16：37	23	発表・共有 （発表各班2分程度、質疑）
17：00	15	講評

#### (1) 役割分担の決定

- ・グループ内でまず進行係、タイムキーパー、書記、発表係を決定していただきます。
- ・以降はそれぞれの役割分担にそって、皆さんで議論を進めていただきます。

#### (2) 自己紹介等

- ・各メンバーから、自己紹介をお願いします（各2分）。

### (3) 論点の洗い出し（個人ワーク）

#### ①地域の特性に応じた少子化に係る問題点・課題

- ・ピンクの付箋に記入してください
  - ・基調講演の内容を振り返っていただき、少子化に係る問題点・課題について、ご自身の地域にも当てはまる論点や、講演内容にはない独自の特徴的な論点など、自由に書き出してください。
- ※①については必ず、かつできるだけ多く書き出してください。

#### ②課題に対し自治体シンクタンクができること、すべきこと

- ・ブルーの付箋に記入してください。
  - ・調査研究による実態把握、分析や政策提言、関連分野のデータベース整備、人材育成、主体間の連携支援など、自治体シンクタンクとして①の課題解決に寄与する取組を検討し書き出してください。
- ※他の方の参考となるように、自団体に既に実施されている取り組みがあればぜひご紹介ください。

(①②計 10 分)。

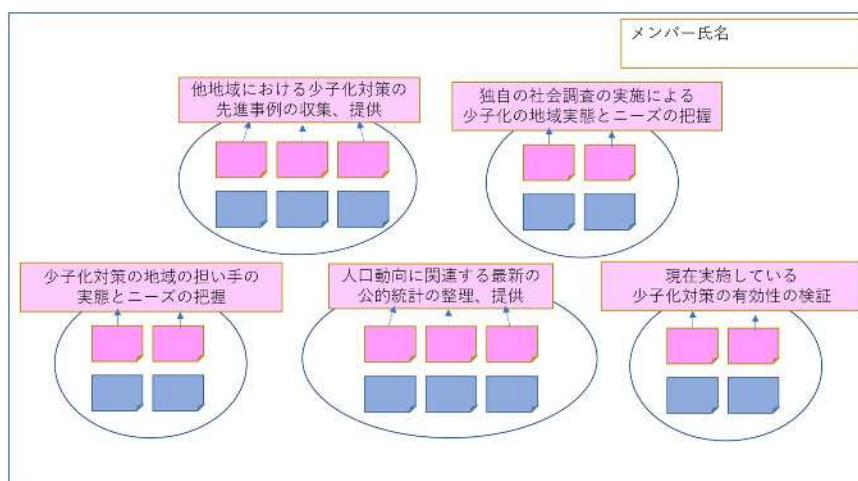
#### 【付箋に記入する場合の注意事項】

- ・整理されていなくてよいので、思いついたことはどんどん書き出してください。
- ・付箋は論点ごとに一枚記載してください（一つの付箋に論点は一つだけ）
- ・簡潔な文章、あるいはキーワードで、読みやすい大きめの文字で記載してください

### (4) 個人ワーク結果の共有と KJ 法による論点整理（グループワーク）

- ・個人ワークの結果を一人ずつ共有（各 2 分）し、KJ 法により①課題と②自治体シンクタンクの役割を類型化し、書記の方を中心に論点整理をしてください（30 分）。
- ※模造紙にメンバーの氏名を記入してください。

＜グループワークのとりまとめのイメージ＞



### (5) 発表、共有、投票

- ・会議全体でグループワークの結果を発表・共有していただきます。（各班 2 分）。

以上